



早通小だより

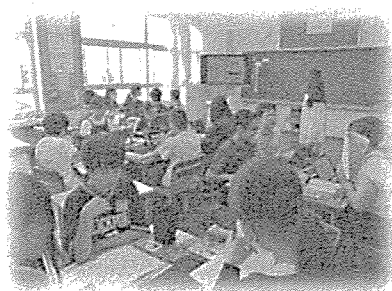
ホームページ <http://www.hayasho.city-niigata.ed.jp/>

学校だより
新潟市立早通小学校
令和8年10月7日



前期修了。実い多き教育活動の成果！ 今年度の重点的な取組紹介

まなび部 研究主任 齋藤祐貴子



今年度、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの資質・能力の育成に向けて、まなび部では『防災教育を中心にして地域とつながりながら探求する子ども』の育成を重点項目として掲げています。

本校は「チームで働く力」が強みであることを職員で分析し、共有しました。その上で、子どもの主体性や課題発見力といった「考え抜く力」をより伸ばしていくために、子どもの課題意識をもとに探求し、自分の思いを表現できる授業づくりの実践に力を入れています。

特に、生活科や総合的な学習の時間では、学年の発達段階に応じた早通地区の防災について持続可能なカリキュラムを作成し、授業実践を行っています。カリキュラムをもとにして子どもが「なぜだろう」「もっと知りたい」といった課題意識を抱きながら自分たちで学習を進めていけるよう、子どもの思いに耳を傾けることを職員全体で共有し、評価・改善を図っています。そこには、早通の地域で生きる子どもたちに、明るい未来を歩んでほしい、早通地区を盛り上げてほしいという職員全員の熱い思いがあります。教科書には書いていない答えを子どもたちが自ら創り出していく過程を大切に授業づくりを今後も行っていきます。

また、生活科や総合的な学習の時間以外の時間にも児童が課題意識をもち学びに向かうことができるよう、授業実践や職員研修を重ねたり、協議をしたりしています。自分の学級だけでなく、早通小学校の子どもたちが「こんなことができて嬉しかった」「もっとできるようになりたい」という思いを抱いてほしいと願いながら職員も日々学んでいます。子どもたちの姿が私たち職員の最大のエネルギー源です。今後も早通小学校での「まなび」へのご協力をお願いいたします。

かかわり部 生活指導主任 鹿内さやか

今年度、本校では「自分や友達のよさを見つけ、伝え合う子どもの育成」を重点目標の一つに掲げ、縦割り班活動や各学級で様々な取り組みを進めています。子どもたちが友達と関わる中で「自分にはこんなよさがある」「友達にはこんな素敵なおところがある」と気づき、それを言葉にして伝えられるようになることを大切にしています。

そのための土台づくりとして、話を聞くことを大切にしたり、活動後に自分の頑張りと友達の素敵な姿を振り返る時間を設けたりしています。友達の話を最後まで聞くことや、自分とは違う考えや思いを受け止めることを通して、相手のよさに気付くことができるようにしています。また、「すてき5」として「話を聞く・ルールを守る・やさしい・がんばる・あいさつ」を大切にしています。例えば、困っている友達に優しく声をかける姿、係や当番活動に一生懸命に取り組む姿、元気に挨拶をする姿など、頑張りとよさを価値付ける指標としています。

さらに、「ひまわり班」と呼ばれる縦割り班活動では、異学年の児童と関わる機会を大切にしています。一緒に活動するだけでなく、活動後には「すてき5」の視点から振り返り、自分のよさや友達の頑張りをを見つける取組を行っています。

これからも、子どもたちが互いの違いやよさを認め合い、「自分も友達も大切にしたい」という温かな関わり合いを、学校全体で育んでいきたいと思ひます。

ききかた名人 あいいうえお	
あ	いてを見て
い	いっしょうけんめいに
う	なずきながら
え	えがおで
お	わりまで

☆すてき5☆ はなし き	
1.	話を聞く
2.	ルールを守る
3.	やさしい
4.	がんばる
5.	あいさつ

前期学校評価保護者アンケートへの ご協力ありがとうございました。

学校評価保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は、87.1%の保護者の皆様からご回答いただきました。ご回答いただいた評価やご意見等を真摯に受け止め、9月以降の教育活動に生かしていきます。



- 1 学校は、子どもが分かりやすく意欲的に取り組めるような授業をしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
40.0%	54.3%	4.8%	0.9%

肯定的な評価の割合
94.3%

- 2 お子さんは、課題や問題を自分ごととして捉え、自分にできることを考えている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
26.5%	51.3%	18.8%	3.4%

肯定的な評価の割合
77.8%

- 3 学校は、地域を活性化させたり、地域と共に学び合ったりする学習を設定している。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
58.8%	38.7%	1.7%	0.8%

肯定的な評価の割合
97.5%

- 4 学校は、家庭学習の習慣が身に付くような指導をしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
38.1%	38.0%	19.5%	4.4%

肯定的な評価の割合
76.1%

- 5 学校は、子どものよいところを認め、一人一人を大切にした支援に努めている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
48.2%	39.5%	8.8%	3.5%

肯定的な評価の割合
87.7%

- 6 学校は、子どもが力を合わせて協力することのよさを実感できるような活動をしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
52.2%	38.9%	8.8%	0.0%

肯定的な評価の割合
91.2%

- 7 学校は、子どもが健康に過ごすために、運動したり、規則正しい生活をしたりできるように指導をしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
55.6%	37.6%	6.0%	0.8%

肯定的な評価の割合
93.2%

- 8 学校は、子どもが困っているとき、親身になって話を聞いたり、対応したりしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
42.7%	44.3%	8.7%	4.3%

肯定的な評価の割合
87.0%

9 学校は、子どもの命を大切にし、安全を確保する指導をしている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
55.9%	39.6%	3.6%	0.9%

肯定的な評価の割合
95.5%

10 学校は、地域のまとまりや防災を意識した活動を行っている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
75.8%	22.5%	1.7%	0.0%

肯定的な評価の割合
98.3%

11 学校は、情報や連絡を学校・学年便り、ホームページ、配信メールなどで適切に伝えている。

a あてはまる	b ややあてはまる	c あまりあてはまらない	d あてはまらない
50.0%	42.4%	5.9%	1.7%

肯定的な評価の割合
92.4%

12 自由記述

○子どもの使い終えたノートを見ると、たくさんの花丸とメッセージがあり、「よくできました」の付箋も貼っている。日々の授業での頑張りを丁寧にフィードバックしていただけて、大変ありがたい。

○自主学習ノートを先生が目を通してくれて、子どものやる気につながっている。

○連絡帳で子どものよいところを褒めるメッセージをいただいている。保護者として、先生に見ていただいていることがとても嬉しい。また、子どももとても喜び、やる気に繋がっている。きめ細やかな指導に感謝したい。

▼子どもから給食を食べる時間が7分とか10分というふうに聞いた。急いで食べることによる事故や食べ切ることができないことは問題に思う。→学校では、給食時の食べる時間を20分間取っています。

▼登校時間が7時50分から8時までの10分間となっております。もう少し登校時間の幅を広げてもらいたい。

→7時50分から8時までを推奨しているが、遅い場合は8時10分までに教室に入れるようにしてください。

▼始業前に学校に入れないのも今まではよかったのになぜダメになったのでしょうか。働き方改革など色々とあると思うが、先生のための職場ではなく、子どもたちのための学校なので、子どもの目線でももっといろいろと考えていただきたい。

→職員が出動していない時間帯に子どもたちを学校の中に入れると、怪我等があった場合対応できない場合があるため、7時50分以降としています。ご理解をよろしくお願い致します。

▼学校のプールの修理をする予定はあるのか？費用面などで修理ができない事情もあるのだろうが、年に2回しかプール授業がないのは少なすぎるかと思う。

→教育委員会からプールを修理する予定はないので、バス代等の費用を負担してもらっている。3回以上実施する場合は、費用やその他の教科授業時数の補充を検討する必要があります。

▼学童のお迎えのときに駐車場が混んで停められず困る。→学校では、駐車場への車の乗り入れを禁止しています。

▼家では、3年生の自転車教室が終わるまで道路では乗れないと子どもに言っていたが、先生が「乗ってもいい」と言ったら子どもが言っている。本当ですか？→自転車の乗り方については、ご家庭の判断に任せています。

▼タブレットの使用も大切だと思うが、個人としてはタブレットを使用しつつ、紙に文字を書いて覚えることに重点を置いてほしいと思う。

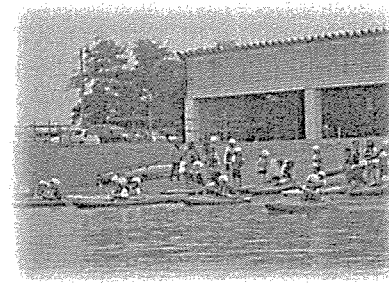
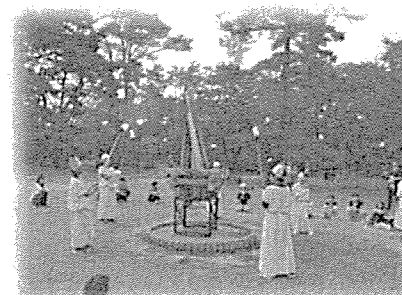
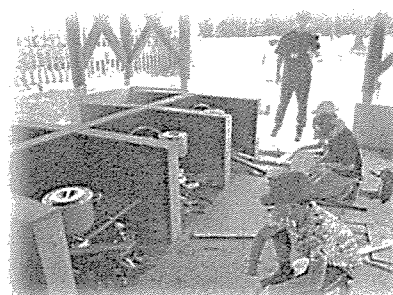
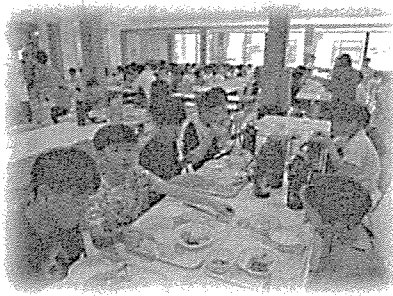
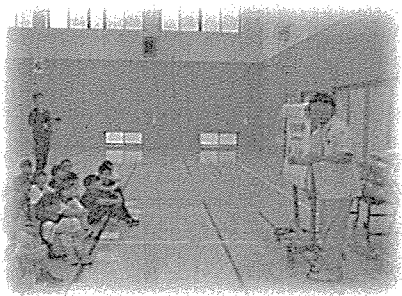
▼学年の学習状況に沿った状態で、習ったこと、習っていないことを明確にして授業を進めてほしい。

▼学校を休んだ時の対応が先生によって違うので、最低限の事については統一してほしい。

▼もう少し子どもたちの様子を見て、対応してほしい。問題が起きてから、保護者に報告して終わりではなく、きちんと今後どうするかを考えてほしい。

みんなで協力して活動した自然体験教室

7月14日（火）・15日（水）の2日間、5年生が胎内市の新潟県少年自然の家で自然体験教室に行ってきました。野外炊さんやグラウンドゴルフ、キャンプファイヤー、カヌーなど、みんなで協力して学校では味わえない体験をしてきました。特に、野外炊さんで作ったカレーがとてもおいしかったようで、子どもたちにとっては一番の思い出になったようです。



【子どもたちの感想】

カヌーのときに座るところがとても熱かったけど、カヌーの先生の話をよく聞いていたのでもうまく進むことができました。また、バックも難しかったけど、上手にできました。

おいしいカレーができました。お米を炊くときも、水を入れすぎないように気を付けたらうまく炊けました。

キャンプファイヤーでのマイムマイムでは、練習のときより声が出ていて、とても盛り上がりました。

グラウンドゴルフでは、みんなで協力してできました。おしかったときには、みんなで「おいしい～」と言い合って、楽しい時間になりました。